

当センター施設にお越しいただく場合は **午前・午後** どちらでも受診いただけます。

胃のバリウム検査(透視検査)を受けられる方へ

バリウム検査の目的は『**胃がん、胃潰瘍などの疾患の早期発見**』です。
胃疾患の早期発見や円滑な検査のため、以下に注意し、ご協力ください。

受診前の注意

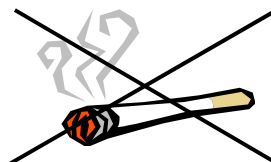
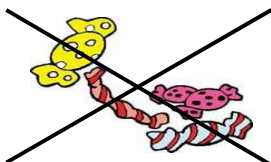
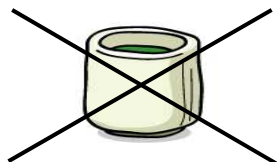
バリウム検査は消化不良の食べ物や胃液があると、精度の高い検査が行えません。
そのため、食事と嗜好品の制限が必要です。
なお服薬治療中の方は、主治医と相談の上、中止できる薬は、当日の検査前だけ中止してください。
中止できない薬は、検査3時間前までに少量の水で服用してください。

(1) 必ず食後6時間以上空けた状態で受診して下さい。

受診当日の朝は、飲食禁止です。受診前日は、午後9時を目安に夕食を済ませて下さい。
※午後からの健診の方は、朝7時までに、消化のよい軽い食事(おかゆ、トースト等)を
済ませ、以後は絶飲食として下さい。
◆控えるもの(脂肪分の多い肉・魚・バター及び繊維分の多い野菜、アルコール、タバコ)

(2) のどが渴いた時は、水で口をすすぐ程度にして下さい。

受診当日は、あめ、キャラメル等も食べないで下さい。又、タバコも吸わないでください。



※但し、夏場など、脱水症状が起きる場合があります。
水・お茶は検査3時間前までに300ml飲用しても構いません。

●妊娠の可能性のある方や妊娠中の方の検査は行っていません。授乳中の方の検査は可能です。

過去、バリウム検査後に気分が悪くなったり、じんましんが出たなど、体調に変化があった方は事前に申し出てください。

受診時のお願い

- 問診票の質問事項は、予め記入しておいてください。
- 胃切除された方、治療中の方、腹部の手術をされた方、耳・体の不自由な方は、撮影方法や読影・判定にあたっての考慮が必要となりますので、検査前に必ず係員に申し出てください。
- 検査後は、バリウムの影響で便秘になりやすいため、緩下剤をお渡ししています。
なお、普段から便秘気味の方には、多めに緩下剤をお渡ししていますので申し出てください。
- 検査後は緩下剤の説明文をよく読み、水分を多く摂取して下さい。
また、食事を早めに召し上がってください。